

## 様式第6号 消防機関へ通報する火災報知設備の概要表記載要領

- ① 火災通報装置
  - ・品名、型式、型式番号、製造会社名及び火災通報装置設置場所を記入する。
  - ・遠隔起動装置の設置場所を電話機の有無で区別して、台数と設置場所（階・室名）を記入する。
  - ・選択信号送出方式を選択する。
  - ・自動火災報知設備連動の有無、電話回線の種別を選択する。
- ② 工事者区分
  - ・工事区分別に工事会社名及び連絡先を記入する。
  - ・電話工事の工事担当者の氏名及び資格を記入する。
- ③ その他
  - ・当該設備の蓄積音声情報（メッセージ）を記入する。なお、新築の場合で建物の住居表示、正式名称、代表電話番号が不明である場合は仮記入し、最終決定時に訂正等を行うこと。
  - ・耐火電線等に接続部が生じる場合、該当する工法名を記入する。詳細については4.(2)⑨による。

※ 火災通報装置の着工届出書の作成に当たっては、各消防機関で事務処理方法が異なる（固有番号の付与等）ため、当該概要表と異なる概要表を作成する必要があるかどうかを確認すること。

# 消防機関へ通報する火災報知設備の概要表

様式第6号

① 火 災 通 報 装 置	品名・型式	〇〇〇〇		型式番号	〇〇〇〇			
	製造会社名	〇〇〇〇株式会社						
	設置場所	1階 防災センター 室						
	遠隔起動装置	設置場 所	電話機付 (4台)	(1) 2階事務所	(2) 3階事務所	(3) 4階事務所	(4) 5階事務所	
			電話機なし (台)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		設置場 所	電話機付 (台)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			電話機なし (台)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	選択信号送出方式	DP方式 (10PPS・20PPS) ・ PB方式						
	自動火災報知設備連動	有 ・ 無						
	電話回線	デジタル ・ アナログ ・ IP						
常用電源	AC	100	V					
予備電源	DC	12	V	0.8	AH			
② 工事者区分	電源工事	〇〇〇〇株式会社						
	配線工事	同上						
	機器の取付工事	同上						
	工事担任者(電話工事)	氏名	〇〇〇〇		資格	総合種工事担当者		
③ そ の 他	メッセージ	<p style="color: red;">ピッピッピ (ピンポーン、ピンポーン) 火事です。火事です。 (自動火災報知設備が作動しました。)</p> <p style="color: red;">こちらは、〇〇市〇〇区〇〇町〇〇-〇〇、 〇〇〇〇〇〇です。 電話番号は、〇〇〇-〇〇〇〇〇です。 逆信してください。</p>						
	その他	耐熱電線……テープ巻式分岐接続工法						

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。  
 3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。